

第59回 大四日市まつり

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

VOL. 1

大四日市まつり実行委員会

令和4年5月19日

## 1. このガイドラインの目的

このガイドラインは、令和4年度第59回「文化都市四日市を創る大四日市まつり」について、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(令和4年3月17日改定)」や新型コロナウイルス感染症専門家会議の分析・提言、業種別ガイドライン、三重県の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』ver. 15」と四日市市の「対応方針」、その他の資料等を参考に、準備作業および練習、並びに曳行及び演技における新型コロナウイルス感染症予防対策を規定したものである。

なお、このガイドラインは、今後も、感染症の動向や専門家の知見、対処方針の改定等を踏まえ、適宜、必要な見直しを行うものとする。

## 2. 感染防止のための基本的な考え方

大四日市まつり実行委員会（以下「実行委員会」という。）と、各行事への参加団体（以下「参加団体」という。）は、準備作業及び練習、並びに曳行及び演技において、クラスター感染発生リスクの高い状況を回避するため最大限の対策を講じ、関係するすべての者の感染を防止するよう努める。

新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大を防止するためには、関係するすべての者が、感染防止行動の徹底について正しい知識を持って取り組むことが必要である。

このため、実行委員会と各参加団体代表はこのガイドラインの徹底を関係するすべての者に周知するよう努める。

## 3. 講じるべき具体的な対策

### 1) 感染予防対策の体制

- ・参加団体は、予防対策等に取り組むに当たり、各種法令(感染症関係、労働安全衛生関係)を遵守する。また、国、三重県、四日市市、関係団体、医師等の専門家等を通じ、新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報を日頃から収集する。
- ・参加団体は、予防対策等に取り組むため、感染対策責任者として1名を選出し、各パート毎にパート責任者を1名ずつ選出し、連絡体制図(P.7参照)を作成する。
- ・参加団体は、準備作業・練習・事後作業に関わるもの全員の名簿を作成する。
- ・感染対策責任者は、このガイドラインの徹底を関係するすべての者に広範且つ迅速に周知する。

## 2) 準備作業・練習時の感染予防対策の実施

### ●準備作業・練習の実施判断について

準備作業・練習日が、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる中止判断基準（※1、P.4参照）に該当すると想定される場合は、可能な限り自宅での個人練習とする。なお、リモート環境が整っているようであれば活用する。

### ●準備作業・練習時の感染予防対策について

- ・練習は、個人練習を基本とし、合同練習の回数は最小限とする。
- ・小学生以下の参加については、保護者の同意を必要とする。
- ・毎回、参加者は作業・練習を行う前に体温をチェックし、名簿に体温を記載する。なお、体温が37.5℃以上で、咳・咽頭痛(軽度の場合を含む)等の症状がある場合は、参加を禁止する。
- ・会場にエタノール含有消毒液を備え付け、手指消毒を徹底する。
- ・会場について
  - \*入場者数は施設の収容定員以内とする。
  - \*作業・練習等を室内の場合は、常時窓や扉を全開にする。  
ただし、音漏苦情がある場合は、30分に1回休憩とし、5分間窓や扉を全開する。
  - \*ドアノブ等、複数の人の手が触れる場所は適宜消毒する。
- ・準備/練習は、密にならないよう、できる限り距離をおいて練習を行う。
- ・演目について、ウイズコロナ対策として、極力、ショートバージョンで構成する。
- ・マスク着用について……「大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方」の通り  
(P.8～13参照)
- ・会話は最小限かつ小声で行う。
- ・作業・練習時の多人数の食事は禁止する。また、少人数であった場合でも、食事中的会話は控え、十分な距離を保つ。
- ・スマートフォン持参者は、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用を義務付け徹底する。
- ・参加者各自が、7月23日(土)から健康チェックシートに体温等を記入する。

## 3) 当日の感染防止対策の実施

### ●実施判断について

開催当日が、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる中止判断基準（※1、P.4参照）に該当すると想定される場合、判断組織で協議し、開催可否または開催方法の変更を判断する。なお、判断組織は実行委員会とする。

## ●感染予防対策について

- ・まつり当日朝においては、すべての参加者が抗原検査を実施することが望ましい。また、抗原検査の結果については、各パートの責任者が確認を行い、感染対策責任者へ報告する。万一、検査結果において陽性となった場合は、速やかに感染対策責任者に報告するとともに、後述の4)準備作業、練習等において関係者の感染が疑われた場合の対応に基づいて行動する。
- ・演技の実情に応じ、人数は必要最小限に抑え、名簿に登録した参加者のみが参加するものとする。また、当日の飛び入り参加は認めない。
- ・身近にエタノール含有消毒液を置き、手指消毒を徹底する。
- ・マスク着用について……「大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方」の通り  
(P.8～13参照)
- ・隣の人とは、極力1m程度の距離をとる。
- ・食事の方法等についてはあらかじめ各団体で決めておき、分散して（場所・時間）とる。飲酒は禁止とする。
- ・山車等、曳行中に大声を出す機会を極力減らすため、拡声器やトランシーバーなどの機器を活用する。
- ・山車等、曳行中や演技中は、喫煙・飲酒を禁止とする。
- ・控室においては、感染対策責任者が三密対策の管理を行う。
- ・参加者同士での身体的な接触（円陣、握手、ハイタッチ等）は控える。
- ・ステージ等では観客と参加者との距離が保たれるよう会場配置を行うが、参加者においても観客と触れ合わない程度の距離を保って曳行・演技を行うよう注意する。
- ・イベント終了後の打ち上げは行わない。

## 4) 準備作業、練習等において関係者の感染が疑われた場合の対応

- ・参加者が、発熱や咽頭痛、倦怠感等の症状があり、新型コロナウイルス感染症への感染を疑う場合は、速やかにかかりつけ医等の身近な医療機関に電話で相談し、指示に従う。診断の結果、陽性の場合、各パート責任者へ、その旨を報告する。なお、保健所への連絡は不要（感染者へは保健所から連絡が入る）。
- ・パート責任者から感染対策責任者を経て、報告を受けた各参加団体代表は、速やかに実行委員会事務局へその旨を報告する。

【実行委員会事務局 059-354-8481 ※8/5～8 は現地事務局(059-353-0560)】

- ・感染者の行動範囲を踏まえ、練習/作業場所の消毒を行うとともに、同場所で練習/作業をしていた参加者の把握に努め、関係者への各種協力依頼等、適切な措置を講じる。
- ・万一、クラスターの発生となった場合は、今後の対応について実行委員会と協議する。
- ・感染者の人権に配慮し、個人名が特定されないよう留意する。  
なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした個人データの取り扱いについては、個人情報保護に配慮し、適切に取り扱う。
- ・感染者が確認された場合の公表の有無・方法については、上記のように個人情報保護に配慮しつつ、公衆衛生上の要請も踏まえ、実態に応じた対応を行う。

※1… 新型コロナウイルス感染症拡大にかかる中止判断基準

- (1)三重県が新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令又はまん延防止等重点措置が公示された場合
- (2)三重県独自の緊急事態宣言(緊急警戒宣言)等の発令または三重県の発表する指針においてイベント開催自粛要請がされた場合
- (3)三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合
- (4)まつり運営にかかるスタッフに新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、まつり運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- (5)その他新型コロナウイルス感染症に起因する事情によりまつりの開催が困難と想定される場合

・(1)、(2)は以下の目安①②③がすべて該当する場合に発令等されるものの、感染状況が減少傾向にあり、以下の目安①②③のうちひとつでも該当しない場合は、判断組織内で協議の上、判断を延長する。なお、以下の目安①②③は、三重県が発表する指針に示される三重県緊急警戒宣言を発出する際の基準に基づくものとし、指針の更新等により目安は変更されるものとする。

- ①直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数が15人以上
- ②病床使用率30%以上
- ③重症者病床使用率20%以上

(令和3年12月1日時点)

# 検温・体調等記録簿

練習日 / 作業日 令和4年 月 日 ( )  
 ( 午前 ・ 午後 )

団体名

責任者名

氏名	検温結果		抗原等 検査	その他の症状 (該当するものに○をつける)					
	時刻	体温		なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
1	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
2	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
3	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
4	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
5	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
6	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
7	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
8	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
9	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
10	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
11	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
12	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
13	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
14	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
15	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
16	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
17	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
18	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
19	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
20	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
21	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
22	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
23	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
24	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
25	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
26	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
27	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
28	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
29	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ
30	:	°C	陰性	なし	頭痛	咳	鼻水	のど痛	息苦しさ

【A3サイズの紙で作成する。参加者が集合場所に到着後、速やかに記入する。保管期間は大四日市まつり終了後1カ月程度とする。】

第59回大四日市まつり

**【開催2週間前】健康チェックシート**

本チェックシートは大四日市まつりにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに2週間前から記入してください。※まつり当日の受付時に提出をお願いする場合があります（提出の際は、代表でとりまとめてください）

※このシートに記入いただいた個人情報は、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、参加の可否の判断および必要な連絡のためのみに利用します。

※個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。

※まつり会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供することがありますので、ご了承ください。

提出日：令和4年8月 日

団体名		氏名	
-----	--	----	--

日付	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)
体温	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
(1)のどの痛みがある。								
(2)咳(せき)が出る。								
(3)痰(たん)が出る。からむ。								
(4)鼻水、鼻づまりがある。								
(5)頭が痛い								
(6)体のだるさがある。								
(7)息苦しさがある。								
(8)味覚異常(味がしない)								
(9)嗅覚異常(匂いがしない)								
(10)その他に気になる症状								

※該当しない場合は「✓」を入れる。該当する場合は「○」を記入する。（体温は0.1°C単位の数字で記入）

まつり1日目 まつり2日目

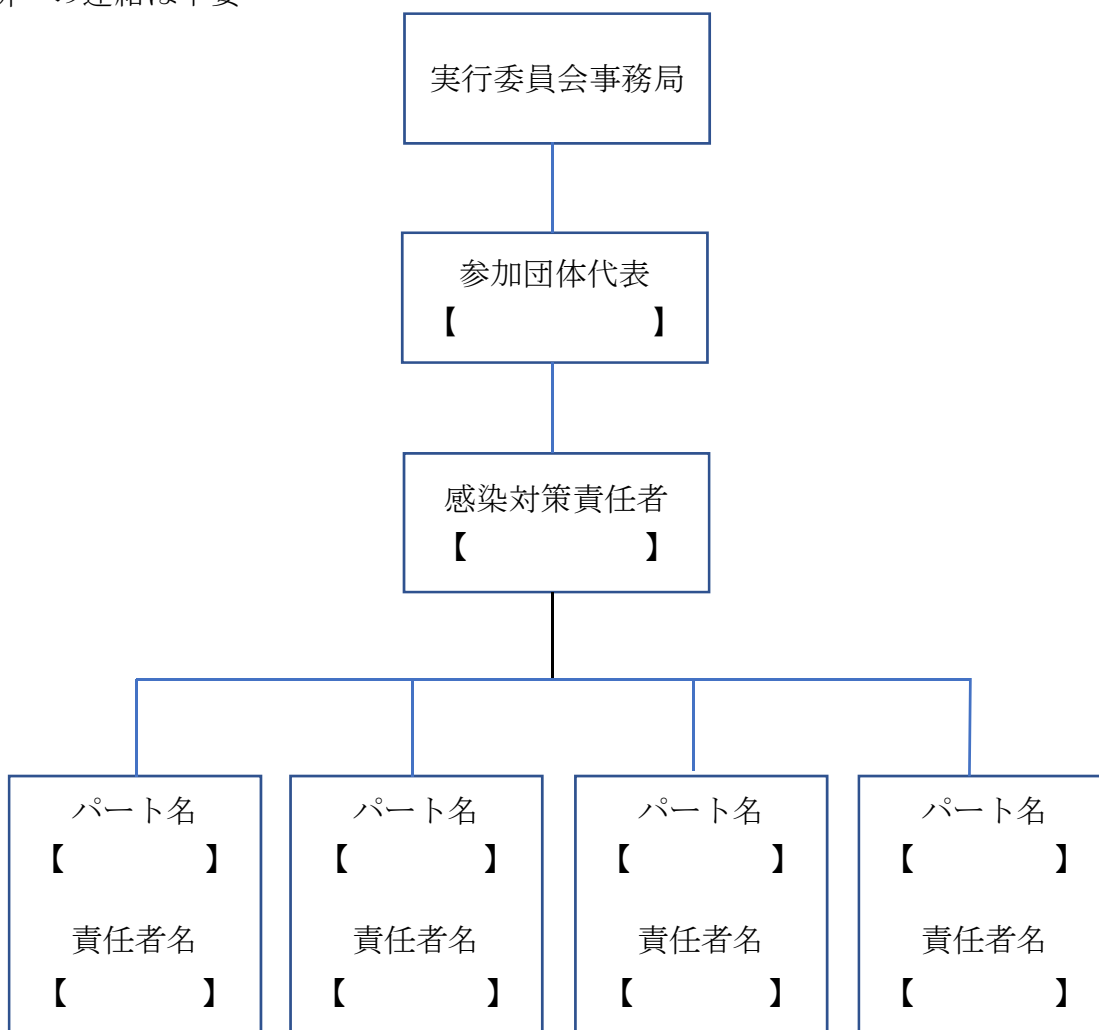
日付	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
体温	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
(1)のどの痛みがある。								
(2)咳(せき)が出る。								
(3)痰(たん)が出る。からむ。								
(4)鼻水、鼻づまりがある。								
(5)頭が痛い								
(6)体のだるさがある。								
(7)息苦しさがある。								
(8)味覚異常(味がしない)								
(9)嗅覚異常(匂いがしない)								
(10)その他に気になる症状								

※該当しない場合は「✓」を入れる。該当する場合は「○」を記入する。（体温は0.1°C単位の数字で記入）

## 連絡体制図

参加団体名	
-------	--

※保健所への連絡は不要





## 大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方

政府の示す「新しい生活様式」の具体的実践例を基本に、業種別ガイドライン（祭り・イベント等開催に向けた感染拡大防止ガイドライン）におけるマスク着用についての考え方を参考として、大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方については別表のとおりとします。なお、マスク着用にあたっては熱中症に十分注意してください。

（参考1）「新しい生活様式」の具体的実践例 ※厚生労働省 HP より

### 「新しい生活様式」の実践例

#### （1）一人ひとりの基本的感染対策

##### 感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
  - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
  - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスク**を着用する。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
  - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。  
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
  - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

##### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

#### （2）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** □咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） □身体的距離の確保
- 「**3密**」の**回避（密集、密接、密閉）**
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を  
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

(参考2) 業種別ガイドラインによるマスク着用の考え方 ※「祭り・イベント等開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」公益社団法人日本青年会議所作成 より一部抜粋

祭り・イベント等参加中のマスク等の着用は参加者等の判断によるもの(※)とするものの、参加の受付、着替え や 神事等の間、特に会話する時にはマスク等の着用を求められることが考えられます。

(※) マスク等を着用して運動を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスク等を外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知すること。

## 別表 大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方

### ■大四日市パレード

練習時	演技者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	管楽器演奏者	室内	管楽器用マスクを着用する。
		屋外	
	打楽器演奏者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。

まつり当日	演技者	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	管楽器演奏者	管楽器用マスクを着用する。
	打楽器演奏者	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。

### ■おどりフェスタ2022・市民盆踊り

※声出しを禁止とするため、練習時より声を出さないよう徹底する。

練習時	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
	屋外	1 m以上距離を離せば、演技中のみマスクを外しても構わない。

まつり当日	1 m以上距離を離せば、演技中のみマスクを外しても構わない。 ただし、演技中の声出しは禁止とする。
-------	--

別表 大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方

■郷土文化民踊と獅子舞

練習時	獅子舞	演技者	マスクを外していても構わないが、飛沫が飛ばないように声量を必要最小限に抑える。
		太鼓奏者	マスクを着用する。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	水沢お諏訪おどり	踊り子	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		唄い手	マスク着用の上、マイクを使用し、極力、声量を抑える。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	日永つんつく踊り	踊り手	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		太鼓奏者	マスクを着用する。
		唄い手	マスク着用の上、マイクを使用し、極力、声量を抑える。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。

まつり当日	獅子舞	演技者	マスクを外しても構わない。
		太鼓奏者	1m以上距離を離せば、マスクを外していても構わない
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	水沢お諏訪おどり	踊り子	1m以上距離を離せば、マスクを外しても構わない
		唄い手	
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	日永つんつく踊り	踊り手	1m以上距離を離せば、マスクを外しても構わない
		太鼓奏者	
		唄い手	
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。

別表 大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方

■郷土の文化財と伝統芸能

準備・練習時	からくり人形山車	操作員	マスクを外していても構わないが、飛沫が飛ばないように声量を必要最小限に抑える。
		三味線、鼓等、お囃子奏者	口上者も含め、全員マスクを着用する。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	鯨船	船につく演技者	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		唄い手	マスク着用の上、マイクを使用し、極力、声量を抑える。
	大念佛	担ぎ手・叩き手	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	石取り	叩き手	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
	大名行列	演技者	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。

まつり当日	からくり人形山車	操作員	マスクを外していても構わないが、飛沫が飛ばないように声量を必要最小限に抑える。
		三味線、鼓等、お囃子奏者	口上者も含め、全員マスクを着用する。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
		曳き手	1m以上距離を離せば、マスクを外していても構わないが、1m以内となる場合は、マスクを着用する。
	鯨船	船につく演技者	マスクを外していても構わないが、演技中の掛け声については、飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		唄い手	1m以上離れた上で、マスク無しでマイクを使用し、極力、声量を抑える。
		曳き手	1m以上距離を離せば、マスクを外していても構わないが、1m以内となる場合は、マスクを着用する。
	大念佛	担ぎ手・叩き手	マスクを外していても構わないが、演技中の掛け声については、飛沫が飛ばない程度に、極力、声量を抑える。
		笛奏者	笛用のマスクを使用する。
	石取り	叩き手	マスク着用を必須とし、演技中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力声量を抑える。
		曳き手	1m以上距離を離せば、マスクを外していても構わないが、1m以内となる場合は、マスクを着用する。
	大名行列	演技者	1m以上距離を離せばマスクを外していても構わないが、演技中の掛け声については、飛沫が飛ばない程度に、極力声量を抑える。

別表 大四日市まつり参加団体マスク着用の考え方

■諏訪太鼓

準備・練習時	太鼓一式	マスク着用を必須とし、演奏中の掛け声については、本番時に備えて飛沫が飛ばない程度に、極力、音量を抑えての練習を行う。
	チャップパ・拍子木・鉦・瓢箪・鉄筒等鳴り物	
	篠笛・法螺貝等	笛用のマスクを使用する。

まつり当日	太鼓一式	1m以上離せばマスクを外しても構わないが、演奏中の掛け声については、飛沫が飛ばない程度に、極力、音量を抑える。
	チャップパ・拍子木・鉦・瓢箪・鉄筒等鳴り物	
	篠笛・法螺貝等	笛用のマスクを使用する。

■みんなで楽しもうおまつり広場

練習時	ダンス等演技者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	管楽器演奏者	室内	管楽器用マスクを着用する。
		屋外	
	打楽器演奏者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	ギター・鍵盤楽器等演奏者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	ボーカル・口上者	室内	マスク着用を必須とするが、小まめに休憩を取る。
		屋外	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。

まつり当日	ダンス等演技者	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	管楽器演奏者	管楽器用マスクを着用する。
	打楽器演奏者	1 m以上距離を離せばマスクを外しても構わない。
	ギター・鍵盤楽器等演奏者	
	ボーカル・口上者	